

答 申 書 (素案)

令和 8 年 月 日

春日部市下水道事業審議会

令和8年 月 日

春日部市長 岩谷 一弘 様

春日部市下水道事業審議会  
会長 作山 康

春日部市下水道事業経営戦略について（答申）

令和6年10月3日付春経発第507号にて諮問がありました標記の件について、審議を重ねた結果、結論に至りましたので、下記のとおり答申いたします。

記

（下水道事業の現状と背景）

- ・春日部市下水道事業は、公衆衛生の向上を図る観点から、公共下水道（汚水）の普及を促進するべく、昭和50年に事業着手してから昭和62年の供用開始までの間、短期間で整備を推進してきた。
- ・その後も、市街化区域を中心に計画的に整備を進めてきたことから、全国平均や県平均と比較して高い人口普及率や整備率となっている。
- ・現在の処理区域内人口は約20万7千人で、人口普及率は90.2%に達しており、公共下水道（汚水）は快適な市民生活や産業活動を支える重要なライフラインとなっていることから、将来にわたって安全な下水道機能の維持が求められている。
- ・平成30年3月に、中長期的な経営の基本計画として「春日部市下水道事業経営戦略」を策定したところである。
- ・これまで、事業規模に見合った人員の適正配置や水道事業との組織統合などによる人員削減、また電力調達方法による経費の削減など経営努力を行っている。
- ・春日部市下水道事業は、市民負担軽減を考慮し、効率的な事業経営による経費節減を優先事項として、平成28年に使用料を改定したのを最後に、約10年間料金改定を見送ってきた。

- ・このため、下水道事業にかかる費用に対して、下水道使用料だけで賄い切れない分を、一般会計からの基準外繰入金により赤字補填してきた。

#### (直面する課題)

- ・人口減少や生活習慣の変化などによる排水需要の減少が進むことで、今後も使用料収入の増加は見込めない。
- ・管渠の老朽化や耐震化対策費用の増加。
- ・ポンプ施設などの老朽化による更新費用の増加。
- ・県中川流域下水道維持管理負担金の値上げによる負担の増加。
- ・物価高騰など社会情勢の変化による費用の増加。
- ・現行の計画では、社会情勢の変化に対応が追いつかないことから、経営戦略の改定が必要である。

#### (審議会の対応)

- ・令和6年10月から令和8年1月の間に計9回、審議を実施してきた。
- ・意見集約の結果を答申として提出する。

## 1. 審議結果（結論）

- ・「春日部市下水道事業経営戦略改定（案）」の内容は適切と判断する。
- ・また、計画改定と併せて検討を行った「適正な下水道使用料のあり方」について、下水道使用料の改定は必要と判断する。

## 2. 審議内容と意見集約

- ・排水需要の動向や施設の状況、経営状況などから総合的に判断した結果、以下のとおりである。

### （1）春日部市下水道事業経営戦略の改定について

#### ① 投資計画

- ・将来にわたり安定的に下水道の機能を維持するため、公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化対策を計画的に進める。
- ・老朽化によるリスクだけではなく、地震などの自然災害によるリスクについても、耐震化対策として計画的に進める。
- ・特に、上下水道耐震化計画に位置付けられた重要施設管路の耐震化を優先的に進める。

#### ② 財政計画

- ・公営企業の経営原則に基づき、健全な事業経営を行うものとする。
- ・主な取り組みとしては、経費回収率が100%以上の経営を目指し、一般会計からの基準外繰入金の抑制に努めるものとする。
- ・経営状況については、適宜評価を行い、必要に応じて適正な下水道使用料のあり方を検討すべきである。

### （2）適正な下水道使用料のあり方について

#### ① 改定時期

- ・現在、既に経費回収率が100%を下回り、必要な経費を使用料収入で賄っていない状態であることから、適正な下水道使用料であるとは言い難い。
- ・またその収支不足を、税金となる一般会計からの繰入金で賄っていることから、出来るだけ早い段階でこの構造を改善するため、下水道使用料の見直しが必要である。

- ・見直しにあたっては、市民への周知期間の確保や料金システムへの対応にかかる期間などを十分考慮することが重要である。

## ② 改定率

- ・一般会計からの基準外繰入金をなくし、10年間の健全な経営を維持する場合は、約60%以上の改定が必要である。
- ・市民負担の影響などを踏まえ、使用料算定期間を5年間とした場合、約40%以上の改定が必要である。
- ・この場合、一般会計からの基準外繰入金はなくなりますが、概ね5年後を目安として、再度、適正な下水道使用料のあり方について検討することで、段階的に見直しを行うものとする。

## ③ 基本料金・従量料金の割合

- ・今後の排水需要減少に備え、基本料金割合の引き上げが適切である。
- ・今後の使用料改定に際しても、引き続き従量料金に依存する体系の見直しを検討すべきである。

## ④ 基本水量制の廃止

- ・現在、基本水量（10立方メートル）内の利用者間の不公平が生じている。
- ・負担公平性確保のため、廃止が適切である。

## ⑤ 累進制の緩和

- ・使用料収入の大口利用者への依存は、経営に対する不安要素である。
- ・負担公平性や収益安定化の観点から、累進制の緩和が適切である。

## ⑥ 基本料金引き上げ及び基本水量の廃止に伴う緩和措置

- ・基本料金の引き上げ及び基本水量の廃止に伴い、基本水量（10立方メートル）以内の少量利用者の大幅な負担増加に対しては一定の配慮が必要であり、緩和措置を講じるものとする。
- ・今後の使用料改定に際しても、従量料金の単価設定には慎重な検討が必要である。

### 3. 附帯意見

- ・今回の答申の改定率では、長期的な経営維持は困難であるため、今後の社会情勢を踏まえた中で、適宜見直しが必要である。
- ・今後は、経営戦略の実績について定期的に評価し、目安としては中間年度となる令和12年度（2030年度）に検証を行い、必要に応じて見直しを実施するものとする。
- ・その際には、適正な下水道使用料のあり方についても検討が必要である。
- ・大規模な地震などの自然災害に備え、事業運営や復旧に要する手元資金を確保するため、一般会計からの基準外繰入金は段階的になくす必要がある。
- ・下水道使用者の世代間の負担を平準化するため、更新工事等には最大限企業債を活用することが望ましい。
- ・ただし、過度の借り入れは後年度の負担増加に繋がるため、償還と借入のバランスを適切に図るものとする。

### 4. むすびに

- ・地震災害や老朽化に伴う事故などを踏まえると、安定的に下水道が利用できることの重要性が再認識できた。
- ・災害等に迅速に対応できるような資金を確保することが望ましいため、これまでのような一般会計からの繰入金に頼り過ぎた経営にならないよう留意することを期待する。
- ・答申内容に基づく適正な事業運営により、将来にわたって安全・安心な下水道機能の維持が期待される。

参考1. 令和6、7年度 春日部市下水道事業審議会 委員名簿

構成	氏名	所属団体等	委員区分	備考
会長	作山 康	芝浦工業大学	1号委員	
副会長	田口 真喜夫	元春日部市職員	1号委員	
委員	下田 正樹	下田建設行政事務所	1号委員	
委員	梅村 武尚	春日部市くらしの会	2号委員	
委員	中島 邦彦	春日部市自治会連合会	2号委員	
委員	藤田 英典	庄和商工会	2号委員	
委員	吉田 剛	春日部商工会議所	2号委員	
委員	酒巻 由紀子	一般公募	3号委員	

(会長と副会長を除く他、各号委員は50音順)

1号委員：知識及び経験を有する者

2号委員：各種団体を代表する者

3号委員：公募に応じた市民

参考2. 答申に至る審議過程

開催回	開催日時	審議内容等
令和6年度 第1回	令和6年10月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春日部市下水道事業審議会委員の委嘱</li> <li>・会長、副会長の選出</li> <li>・春日部市下水道事業経営戦略について（諮問） （議題）</li> <li>1. 春日部市下水道事業経営戦略の見直しについて</li> <li>2. 審議スケジュールについて</li> </ul>
令和6年度 第2回	令和6年12月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>（議題）</li> <li>1. 経営戦略の背景と位置付けについて</li> <li>2. 春日部市の現状、将来の見通しについて</li> <li>3. 経費回収率の向上に向けたロードマップについて</li> </ul>
令和6年度 第3回	令和6年3月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>（議題）</li> <li>1. 現行計画に対する実績の検証について</li> <li>2. 経営指標から見た分析について</li> <li>3. 今後の課題等について</li> <li>4. 春日部市下水道事業経営戦略の項目案について</li> </ul>
令和7年度 第1回	令和7年6月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>（議題）</li> <li>1. 前回までの振り返り</li> <li>2. 春日部市下水道事業経営戦略改定の概要について</li> </ul>
令和7年度 第2回	令和7年10月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>（議題）</li> <li>1. 春日部市下水道事業経営戦略改定（案）の概要について</li> <li>2. 一般的な使用料算定（改定）の流れについて</li> </ul>
令和7年度 第3回	令和7年10月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>（議題）</li> <li>1. 投資及び財政計画のシミュレーション結果について</li> <li>2. 近隣自治体の動向等について</li> <li>3. 使用料体系設定の基礎事項について</li> </ul>
令和7年度 第4回	令和7年11月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>（議題）</li> <li>1. 春日部市下水道事業経営戦略改定（案）について</li> <li>2. 投資及び財政計画のシミュレーション結果について</li> </ul>
令和7年度 第5回	令和7年12月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>（議題）</li> <li>1. 春日部市下水道事業経営戦略について（答申骨子案）</li> </ul>
令和7年度 第6回	令和8年1月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>（議題）</li> <li>1. 春日部市下水道事業経営戦略改定版の決定について</li> <li>2. 春日部市下水道事業経営戦略について（答申案）</li> </ul>

・令和8年 月 日、春日部市長へ答申書の提出